

＜申込み先＞

FAX：073-488-6260（代表）

メール：kodomogaku@shinai-u.ac.jp

＜問合せ先＞ 和歌山信愛大学（わかやま子ども学総合研究センター）

TEL：073-488-6228（代表）

住所：〒640-8022 和歌山市住吉町1番地（和歌山信愛大学）

※メールで申込みの場合は、下記の参加申込書（1）～（7）の内容をご記載ください。

＜公開研究集会参加方法について＞ ①か②どちらかを選択してください。

① 和歌山信愛大学での参加（※分科会の定員は、先着20～30名とします）

※当日は、新型コロナウイルス感染症対策のためマスク着用、検温、手指消毒等ご協力をお願い致します。
体調不良の方は、来場をご遠慮ください。

状況によっては、大学での開催が中止になり、完全遠隔開催（Zoom）になる可能性もあります。

大学での参加希望の方にも申込みいただいたメールアドレス宛に、遠隔参加（Zoom）用のURL等をご連絡致します。

② 遠隔参加（Zoom）

※参加申込みをいただいたメールアドレス宛に遠隔参加（Zoom）用のURL等、参加方法をご連絡致します。

参 加 申 込 書

＜個人情報取扱いについて＞

ご記入いただいた個人情報を、第三者に提供することはありません。

本個人情報は、講演会やセミナーに関するご案内・ご連絡及び本学からの情報提供のためにのみ利用します。

（1）ふりがな氏名（2）住所または所属

（3）参加方法（①か②どちらかを選択してください）

① 和歌山信愛大学での参加 ② 遠隔参加（Zoom）

（4）希望分科会（※大学に来られる場合は第2希望までご記入ください）

第1希望（ ）第2希望（ ）

（5）電話番号（※当日連絡がつく電話番号を記入してください）

TEL（ ）

（6）当日参加のご本人が確認できるメールアドレス（※メールにて申込みの方は記載の必要はありません）

MAIL @

（7）同伴者（ ）名（ご一緒に参加申し込みをされる方）

ふりがな 氏名	住所または所属	希望分科会
		第1希望()第2希望()
ふりがな 氏名	住所または所属	希望分科会
		第1希望()第2希望()

切取り線

令和4年度
わかやま子ども学総合研究センター
公開研究集会

テーマ

「わかやまの子ども達の現状と課題について考える」

～教育、福祉、地域・家庭が連携した子どもへの支援の在り方を探る～

近年、社会が激しく変化する中で、児童虐待、いじめ、不登校、ヤングケアラーなどの子どもに関わる事象が深刻化しており、これらの問題を社会全体の課題として取り組む必要が生じてきています。各地域においても現状を認識した上で「子どもを真ん中に置いた対策」の見直しが急務となってきました。

そこで、和歌山信愛大学わかやま子ども学総合研究センターでは、「わかやまの子ども達の現状と課題について考える」と題した公開研究集会を開催し、子ども達の問題を、総合的に検討することとしました。

公開研究集会では、教育と福祉の現状と課題についての行政説明をいただき、各分科会に参加された皆様とともに、子どもを取り巻く現状と課題を確認しながら、教育・福祉・地域・家庭等が連携した子どもへの支援の在り方を探っていきたいと考えています。

■開催日：令和5年3月4日（土）13：00～16：00（開場12：30～）

■会 場：和歌山信愛大学 〒640-8022 和歌山市住吉町1番地
遠隔参加（Zoom）も可能です。

■参加対象：子どもに関わる教育、福祉、医療等の従事者、地域での学校運営、子育て支援関係者、保護者等

■申し込み期限：令和5年2月15日（水）まで

■主 催：和歌山信愛大学・和歌山信愛女子短期大学

■共 催：和歌山市こども総合支援センター

■後 援：和歌山県・和歌山市・和歌山県教育委員会・和歌山市教育委員会



※駐車場について
お車でご来学の場合は本町地下駐車場等のご利用をお願いします。
（本町公園側の南門からの入場可）

本町地下駐車場代
30分100円（最初の30分間無料）
最大料金600円（7時から19時）

＜公開研究集会内容＞

テーマ 「わかやまの子ども現状と課題について考える」
～教育、福祉、地域・家庭が連携した子どもへの支援の在り方を探る～

13:00	13:10	14:15	15:20	15:55	16:00
開会	1.行政説明	2.分科会	3.分科会の発表 4.まとめ	閉会	

1. 行政説明

教育・児童福祉行政の現状と行政施策について説明をいただきます。

ア：「最近の教育の現状と課題」

講師：和歌山県教育庁教育支援課長 川口 勝也 氏

イ：「最近の児童福祉の現状と課題」

講師：和歌山県福祉保健部子ども未来課長 鈴木 玲 氏

2. 分科会

各分科会において、参加者からの話題提供や事例発表に基づき、連携した子どもへの支援の在り方を探っていきたいと考えています。

第1分科会「不登校・いじめ・ゲーム依存等の課題について考える」

座長：和歌山信愛女子短期大学教授 小滝 正孝
助言者：和歌山市立子ども支援センター長 川野 一郎 氏

ゲーム依存や不登校の子どもへの支援のため、関係機関が連携して取り組んだ事例を提供いただく予定です。事例をもとに、子どもを支えるための相談先や関係機関を知るとともに、連携の取り方を学び、迅速で適切な支援の在り方を探っていきたいと考えています。

参加者の皆様からも、成功した事例や困っている課題等をお出しいただき、共有する中で、地域で子どもを支えるネットワークを広げる機会になることを目指しています。

第2分科会「児童虐待・子育て支援・ヤングケアラー等の課題について考える」

座長：和歌山信愛女子短期大学講師 桑原 徹也
助言者：和歌山市こども総合支援センター班長 森田 知恵 氏

児童虐待の増加は、最近の社会情勢の変化の中で家庭や地域での養育のあり方の問題を提起しており、誰にでもどこにでも起こり得る状況にあります。したがって児童虐待への対策だけでなく、子育て支援施策、ヤングケアラーへの対策などの社会的課題との包括的な対応を検討する必要があります。

参加者の皆様からそれぞれの取り組んでいる現状と課題についてお聞かせいただき、地域での連携した取り組みの方向性を探っていきたいと考えています。

第3分科会「障害児支援・特別支援教育の課題について考える」

座長：和歌山信愛大学教授 村上 凡子
助言者：和歌山県教育庁県立学校教育課特別支援教育室指導主事 恋田 剛彰 氏

本分科会では、支援ニーズのある子どもたちへの途切れない支援を各地域で実践するために、関係機関の連携・つながりを核となるテーマにします。どのような取り組みが有効であるのか、また課題は何かという点について、複数の関係機関から話題提供をしていただきます。乳幼児期から青年期までの成長発達を支える縦のつながりと同じ時点での関係機関の横のつながりを明確にし、学校と他機関の関係者が一堂に会し、共通のテーマで相互理解、相互交流を深めていきます。

第4分科会「教科指導・クラス運営等について考える」

座長：和歌山信愛大学教授 小林 康宏
助言者：和歌山市教育委員会学校教育課専門教育監 福永 徹 氏

学級の雰囲気や安心感が満ち足りており、一つ一つの授業が、自分が認められ、仲間の良さを感じ、力が付いたと実感できるものであれば、子どもは「明日も学校に行きたい!」と思うでしょう。本分科会では、参加された皆様からの実践・経験から、一人一人の子どもが安心できる学級経営、満足できる教科指導を学び合いたいと思います。小学校から高等学校まで、校種を問わず、多くの先生方、また、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

3. 分科会の発表

4. まとめ

わかやま子ども学総合研究センター長 桑原 義登



令和3年度 わかやま子ども学総合研究センターシンポジウム